



小売業



徳島新聞富田専売所 徳島市富田橋4丁目6-4 電話0120-44-6106

👉 お仕事に役立つ3つのポイント



①流行性疾患の記事

県内で流行している病気の情報をチェックして、感染または予防を考えている方へ適した商品の提案を行う。複数の商品をセットにして、より高い効果を訴求して売上げアップも。

②新商品発表記事

新聞に載った新商品は信頼度が高く、自店のおすすめポイントと組み合わせることでアピールしやすい。特に取扱い店が少ない商品ほど自店で購入するメリットを強く印象付けられる。

③暮らし面

暮らしに役立つ記事を読み解き、今後何が売れるのか予測を立てる。主婦の関心が高いこの面を見ておけば、共通認識を持って販売戦略を立てやすくなる。

🗨️ 具体的な徳島新聞活用術

■インフルエンザ情報

県内の流行状況を解説した記事をPOPなどにして、いち早くご来店のお客様に伝えて、販売につなげている。



不要不急の外出自粛



■入荷前の新商品情報

まだ発売されていない商品の紹介が載った時は、入荷予定を店内に掲示してお客様の反応を探り、仕入れ量の調整や販売手法を考えている。



■新商品情報

記事を大きく拡大して、売り場のPOPにする。記事中の文字にも強弱をつけてアレンジし、商品への信用度を高めてもらう工夫をしている。

小売店などの場合、スタッフが商品知識を持ち、お客様に伝える提案力があれば売上げアップを期待できます。最近では大型量販店の進出がめざましく、教育マニユアルの充実が図られているようです。しかし、売り場の接客力や商品知識は個人の努力によって補われており、個人差が付きやすいのも事実。徳島新聞を読んでも、確かな知識を現場で生かせるため高い効果が期待できます。



所長 ひとこと

2015年11月13日 徳島新聞朝刊

インフル接種 昨年より高め

ワクチン値上げ反映
県内医療機関 敬遠を懸念
徳島県内の医療機関で、インフルエンザワクチンの接種率が昨年より高まっている。しかし、ワクチン価格の上昇が影響を及ぼしている。県内医療機関は、敬遠を懸念している。徳島県は、ワクチン接種の促進を図っている。県民の健康を守るため、接種率を高める必要がある。医療機関は、価格の上昇を理由に、接種を敬遠している。県は、価格の引き下げを求め、接種率を高めることを目指している。

インフルエンザワクチンが値上げになりました！

感染予防のために漢方薬「麻黄湯」

「紅茶」「生姜」

を摂りましょう！

特にお子様におすすめです。病気になるのもイヤですが急な出費も避けたいもの。当店では「セット販売」しています。店員までお声をかけください。



👍 こんなPOPいかがですか？